

入学者選抜の基本方針

◆総合型選抜[一般枠・地域枠]

本学の建学の理念、教育方針、アドミッション・ポリシーに基づいて、専門分野への興味関心度や目的意識の高さ、学習意欲と協調性など、専門職として生涯成長できる潜在的能力の評価に重点をおき、それぞれの領域で活躍・貢献することのできる熱意ある人材を受け入れることを目的とします。

◆学校推薦型選抜(A日程・B日程・福祉科特別推薦・スポーツ系特別推薦)

本学の建学の理念、教育方針、アドミッション・ポリシーに基づき、高等学校在学中における「学習成績の状況及び課外活動等の取り組み内容や成果」を多様な観点から評価し、入学後もその成果をもとに本学教育を発展的、継続的に学び続けることのできる意欲の高い人材を受け入れることを目的とします。

◆一般選抜(前期日程・後期日程)

高等学校段階における基礎的な学習の達成の程度を教科学力テスト得点により把握し、調査書による「主体性・多様性・協働性」も評価に加えることで、専門職教育を理解する基礎学力を基盤として主体的、協働的に他者とともに学ぶ高い資質を持つ人材を受け入れることを目的とします。

◆大学入学共通テスト利用選抜(前期日程・後期日程)

本学が指定する大学入学共通テストの科目得点を重視しつつ、調査書による「主体性・多様性・協働性」も評価に加えることで、専門的教育を理解する基礎学力を基盤として主体的、協働的に人々とともに学ぶ高い資質を持つ人材を受け入れることを目的とします。

◆特別選抜(社会人)

これまでの社会人としての多様な人生経験を背景として、人のケアに関わる専門職を目指す熱意ある人材を受け入れるため、学力の3要素を基本として多面的な能力を総合的に評価することを目的とします。

2025年度入学者選抜のポイント

① 大学入学共通テスト「情報」科目を選択科目として追加

2025(令和7)年度大学入学共通テストで新たに出题科目となった「情報I」については、全学科選択科目として追加します。
各学科の採用科目については、22ページの「大学入学共通テスト利用選抜採用科目一覧」をご確認ください。

② 奨学制度の対象範囲・認定数を拡大

本学では学業特待生制度や修学支援授業料減免制度、貸与奨学金制度などを設けていますが、昨年度より奨学制度の対象範囲・認定者数を拡大し、より多くの学生が支援を受けられるようになりました。

特に、年間授業料が1/2減免される入学特待生は一般選抜前期日程定員89名の約40%まで拡大され、特待生選考に合格するチャンスが広がりました。

(詳しくは40ページを参照)

③ 調査書の活用

学力の3要素(①知識・技能、②思考力・判断力・表現力、③主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度)を評価する観点から出願書類である調査書を可否判定に使用します。

特別選抜においては、調査書を活動報告書に代えて評価します。評価については、以下の項目を予定しています。

総合型選抜・学校推薦型選抜

- 学習成績の状況
- 特別活動の記録
- 指導上参考となる諸事項
- 出欠状況

一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜

- 特別活動の記録
- 指導上参考となる諸事項
- ※調査書が提出できない場合は、志願者本人が作成する「活動調書」を評価します。